

統合失調症薬物治療ガイドライン 2022 作成メンバーの役割

ガイドライン統括委員会は、共同代表と日本神経精神薬理学会と日本臨床精神神経薬理学会を代表する委員若干名により構成され、本ガイドライン作成の目的を明確化し、組織体制の構築を行い、ガイドライン作成、公開、普及を主導する役割を担った。

ガイドライン作成委員会は、日本神経精神薬理学会と日本臨床精神神経薬理学会に所属するガイドライン作成に関する経験が豊富な精神科医が委員を務めた。当事者・家族・支援者・関連学会・協会の委員は、外部委員という形ではなく、ガイドライン作成委員会委員として議論に加わって評価を行い、双方向性に本ガイドラインの作成に参加した。精神科医の委員のうち十数名は各システムティックレビューチームのリーダー・副リーダーを兼任し、システムティックレビューチームとガイドライン作成委員会との橋渡しをする役割を務めた。

システムティックレビューチームはガイドライン作成委員としての協議に加えて、系統的レビューを担当した。残りの精神科医の委員は、ブラッシュアップチームを構成し、各システムティックレビューチームのリーダー・副リーダーと当事者・家族・支援者・関連学会・協会の委員の意見の調整を行って全体の統一性を持たせる役割を担った。

ガイドライン統括委員会委員

伊豫雅臣	千葉大学大学院医学研究院精神医学
大森哲郎	社会医療法人あいざと会藍里病院
久住一郎	北海道大学大学院医学研究院精神医学教室
染矢俊幸	新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野
中込和幸	国立精神・神経医療研究センター

ガイドライン作成委員会委員

相沢隆司	横浜ピアスタッフ協会/地域活動支援センター すぺーす海
新井 誠	東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 統合失調症プロジェクト
伊賀淳一	愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座
五十嵐中	横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット
池淵恵美	帝京平成大学大学院臨床心理学研究科
市橋香代	東京大学医学部附属病院精神神経科
稲垣 中	青山学院大学教育人間科学部/保健管理センター
稲田 健	北里大学医学部精神科学
稲見 聡	医療法人報徳会宇都宮病院総合支援課

岡田久実子	全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）
小田陽彦	兵庫県立ひょうごこころの医療センター
蔭山正子	大阪大学高等共創研究院
笠井清登	東京大学大学院医学系研究科精神医学
勝元榮一	かつもとメンタルクリニック
加藤 玲	東京都新宿区精神障害者家族会「新宿フレンズ」
金沢徹文	大阪医科薬科大学神経精神医学教室
小鳥居望	医療法人仁祐会小鳥居諫早病院
小林正義	信州大学医学部保健学科
佐々木 剛	千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部
佐竹直子	国立精神・神経医療研究センター病院
佐藤英樹	国立精神・神経医療研究センター病院
鈴木みずめ	横浜ピアスタッフ協会
諏訪太朗	京都大学医学部附属病院精神科神経科
高江洲義和	琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座
武市尚子	東京弁護士会
竹内啓善	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
嶽北佳輝	関西医科大学精神神経科学教室
田近亜蘭	京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野
坪井貴嗣	杏林大学医学部精神神経科学教室
中川敦夫	慶應義塾大学病院臨床研究推進センター
中越由美子	さいたま市精神障がい者「もくせい家族会」/LINE 家族会「Pure Light」
根本清貴	筑波大学医学医療系精神医学
橋本亮太	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部
畠山卓也	駒沢女子大学看護学部
福田正人	群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学
藤井哲也	横浜ピアスタッフ協会
藤野陽生	大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連 合小児発達学研究科
古郡規雄	獨協医科大学精神神経医学講座
堀 輝	福岡大学医学部精神医学教室
堀合研二郎	横浜ピアスタッフ協会
三浦 至	福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
村井俊哉	京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）

森 隆夫	あいせい紀年病院
山田悠平	一般社団法人精神障害当事者会ポルケ
渡邊央美	国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター

システマティックレビューチーム委員

飯田仁志	福岡大学医学部精神医学教室
伊賀淳一	愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座
池田俊一郎	関西医科大学精神神経科学教室
伊藤侯輝	市立札幌病院精神科/精神医療センター
伊藤賢伸	順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学
江角 悟	岡山大学病院薬剤部
大井一高	岐阜大学医学部附属病院精神科
大島勇人	特定医療法人勇愛会大島病院
大矢一登	藤田医科大学医学部精神神経科学講座
越智紳一郎	愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座
金沢徹文	大阪医科薬科大学神経精神医学教室
菊地紗耶	東北大学病院精神科
岸 太郎	藤田医科大学医学部精神神経科学講座
岸本泰士郎	慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座
木村 大	千葉大学大学院医学研究院精神医学/学会会木村病院
小鳥居 望	医療法人仁祐会小鳥居諫早病院
佐久間健二	藤田医科大学医学部精神神経科学講座
佐々木 剛	千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部
佐藤創一郎	社会医療法人高見徳風会希望ヶ丘ホスピタル
澤山恵波	北里大学医学部精神科学
鈴木正泰	日本大学医学部精神医学系
鈴木利人	順天堂大学医学部附属越谷病院メンタルクリニック
諏訪太郎	京都大学医学部附属病院精神科神経科
高江洲義和	琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座
竹内啓善	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
嶽北佳輝	関西医科大学精神神経科学教室
竹島正浩	秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
田近亜蘭	京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野
樽谷精一郎	特定医療法人大阪精神医学研究所新阿武山病院

坪井貴嗣	杏林大学医学部精神神経科学教室
富田 哲	弘前大学医学部附属病院神経科精神科
永井 努	昭和大学薬学部病院薬剤学講座/昭和大学附属烏山病院薬局
沼田周助	徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野
根本清貴	筑波大学医学医療系精神医学
野村郁雄	もりやま総合心療病院
橋本保彦	神戸学院大学
波多野正和	藤田医科大学医学部臨床薬剤科
菱本明豊	横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門
堀 輝	福岡大学医学部精神医学教室
松井健太郎	国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部
松田勇紀	東京慈恵会医科大学精神医学講座
三浦 至	福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
村田篤信	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部
安田貴昭	埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック
山田浩樹	昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター
渡邊央美	国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター

ブラッシュアップチーム委員

市橋香代	東京大学医学部附属病院精神神経科
稲垣 中	青山学院大学教育人間科学部/保健管理センター
稲田 健	北里大学医学部精神科学
佐藤英樹	国立精神・神経医療研究センター病院
中川敦夫	慶應義塾大学病院臨床研究推進センター
橋本亮太	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部
古郡規雄	獨協医科大学精神神経医学講座

利益相反情報

本ガイドライン作成委員会は、作成メンバーが中立性と公平性をもって作成業務を遂行するために、実際または予想されうる問題となる利益相反状態を避けることに最大限の努力を払っている。すべての作成メンバーおよび作成した学会は可能性としてまたは実際に生じる利益相反情報の開示を行う。開示の基準は日本医学会の「診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス（平成29年3月）」に従い、対象期間を2019年1月1日～2021年12月31日

とした。利益相反状況の有無にかかわらず、共同代表とガイドライン作成メンバーは「統合失調症薬物治療ガイドライン」の内容に関して、科学的及び医学的公正さと妥当性を担保し、統合失調症の診療レベルの向上を旨として作成を行った。

1. 個人の利益相反情報

ガイドライン作成メンバー個人の開示基準及び利益相反情報は以下のとおり。

【開示基準】

A. ガイドライン参加者あるいはその配偶者、1親等親族または収入・財産的利益を共有する者が下記の項目に該当するかどうかの確認

- (1) 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職としての収入（100万円以上/企業/年）
- (2) 株の保有と、その株式からの利益収入（全株式の5%以上/企業あるいは100万円以上/企業/年）
- (3) 企業や営利を目的とした団体からの特許権使用料受領（100万円以上/企業/年）
- (4) 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附講座への所属（実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載）

B. ガイドライン参加者の個人COIおよび組織COIの確認

個人COI

- (1) 講演料（企業や営利を目的とした団体より、会議の出席に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当など：50万円/企業/年）
- (2) 企業や営利を目的とした団体が作成するパンフレット、座談会記事などの執筆に対して支払った原稿料（50万円/企業/年）
- (3) 研究費（1つの企業・団体から、医学系研究に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられたもの：100万円/企業/年）
- (4) 奨学寄附金（1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられたもの：100万円/企業/年）
- (5) その他の報酬（研究とは直接に関係しない旅行、贈答品など：5万円/企業/年）

組織COI：所属する講座または部門の長が受け入れている場合の金額区分(企業/年)

- (6) 研究費（1つの企業・団体が契約に基づいて、医学系研究に対して、当該の長が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられたもの：1000万円/企業/年）
- (7) 奨学寄附金（1つの企業・営利団体から、申告者の研究に関連して提供され、所属機関長、病院、学部またはセンター、講座の長が実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に

割り当てられたもの：200万円/企業/年)

次の委員は利益相反状況の申告なし：相沢隆司，新井誠，池田俊一郎，池淵恵美，市橋香代，伊藤侯輝，伊藤賢伸，稲田健，稲見聡，江角悟，大島勇人，岡田久実子，小田陽彦，越智紳一郎，蔭山正子，笠井清登，加藤玲，佐竹直子，澤山恵波，鈴木みずめ，諏訪太朗，武市尚子，田近亜蘭，樽谷精一郎，富田哲，永井努，中川敦夫，中越由美子，沼田周助，野村郁雄，橋本保彦，畠山卓也，波多野正和，福田正人，藤井哲也，藤野陽生，古郡規雄，堀合研二郎，松井健太郎，松田勇紀，村井俊哉，村田篤信，森隆夫，安田貴昭，山田悠平，渡邊央美

B-2 については全員該当なし。

利益相反項目				
	A(1)(2)(3)(4)	B(1)	B(3)	B(4)(5)(6)(7)
飯田仁志		MeijiSeika ファルマ株式会社		
伊賀淳一		大塚製薬株式会社，持田製薬株式会社，武田薬品工業株式会社，MeijiSeika ファルマ株式会社，大日本住友製薬株式会社		
五十嵐中	A(1)：ギリアドサイエンス株式会社，富士フイルム株式会社，テルモ株式会社，CSL ベーリング株式会社，オムニカ株式会社，武田薬品工業株式会社	ノバルティスファーマ株式会社，小野薬品工業株式会社，グラクソ・スミスクライン株式会社，ノボルディスクファーマ株式会社		B(6)：インチュイティブサージカル合同会社
稲垣 中		IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社		
伊豫雅臣		大日本住友製薬株式会社		B(7)：大日本住友製薬

		社, 大塚製薬株式会社		株式会社
大井一高			田辺三菱製薬株式会社	
大森哲郎		大塚製薬株式会社, 武田薬品工業株式会社, 大日本住友製薬株式会社		
大矢一登				B(7): 大塚製薬株式会社, 大日本住友製薬株式会社
勝元榮一		大日本住友製薬株式会社, 大塚製薬株式会社, 武田薬品工業株式会社		
金沢徹文		エーザイ株式会社, 大塚製薬株式会社, 大日本住友製薬株式会社		B(4): 大塚製薬株式会社, エーザイ株式会社
菊地紗耶				B(6): 第一三共株式会社
岸太郎		大日本住友製薬株式会社, 大塚製薬株式会社, ヤンセンファーマ株式会社, MeijiSeika ファルマ株式会社, エーザイ株式会社, 第一三共株式会社, 共和薬品工業株式会社, 武田薬品工業株式会社		
岸本泰士郎	A(1): i2medical 合同会社, A(3): フロンテオ, A(4): 森ビル	大日本住友製薬株式会社, ヤンセンファーマ株式会社,	大日本住友製薬株式会社, 大塚製薬株式会社, 積水ハウス株式会社, JSR 株式会社	
木村 大				B(7): 大日本住友製薬株式会社
久住一郎		大塚製薬株式会社, 大日本住友製薬株式会社		B(4): エーザイ株式会社, 塩野義製薬株式会社, アステラス製薬

				株式会社,大塚製薬株式会社,大日本住友製薬株式会社,田辺三菱製薬株式会社
小島居望			エーザイ株式会社	
小林正義				B(5):大日本住友製薬株式会社
佐久間健二				B(7):大塚製薬株式会社,大日本住友製薬株式会社
佐々木 剛				B(7):大日本住友製薬株式会社
佐藤創一郎		大塚製薬株式会社,大日本住友製薬株式会社		
佐藤英樹			日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社,バイオジェン・ジャパン株式会社	
鈴木正泰		エーザイ株式会社,MeijiSeika ファルマ株式会社,MSD 株式会社,ヴァイアトリス製薬株式会社,大塚製薬株式会社		
鈴木利人		大塚製薬株式会社,大日本住友製薬株式会社		
染矢俊幸		大塚製薬株式会社,大日本住友製薬株式会社,ヤンセンファーマ株式会社		B(4):大塚製薬株式会社,塩野義製薬株式会社,大日本住友製薬株式会社,持田製薬株式会社
高江洲義和		エーザイ株式会社,MSD 株式会社,武田薬品工業株式会社,大塚製薬株式		

		会社, 大日本住友製薬株式会社		
竹内啓善		大塚製薬株式会社, 大日本住友製薬株式会社, ヤンセンファーマ株式会社		
嶽北佳輝	A(1): 大日本住友製薬株式会社			
竹島 正浩		第一三共株式会社		
坪井貴嗣		ヴィアトリス製薬株式会社, 大日本住友製薬株式会社, 武田薬品工業株式会社		
中込和幸		大日本住友製薬株式会社, 大塚製薬株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社, ヤンセンファーマ株式会社, 大塚製薬株式会社, 持田製薬株式会社, 大日本住友製薬株式会社	B(5): 大日本住友製薬株式会社, 大塚製薬株式会社
根本清貴		大塚製薬株式会社, 日本イーライリリー株式会社	BHQ 株式会社	
橋本亮太			大塚製薬株式会社, 武田薬品工業株式会社, 日本たばこ産業株式会社	
菱本明豊		大日本住友製薬株式会社, 大塚製薬株式会社, エーザイ株式会社, MeijiSeika ファルマ株式会社		B(4): 大日本住友製薬株式会社, エーザイ株式会社
堀 輝		日本イーライリリー株式会社, 大日本住友製薬株式会社, 大塚製薬株式会社		

		社, ヤンセンファーマ株式会社, 武田薬品工業株式会社		
三浦 至		大日本住友製薬株式会社, 大塚製薬株式会社		B(7): 一般財団法人新田目病院
山田 浩樹		大塚製薬株式会社, 大日本住友製薬株式会社, ヤンセンファーマ株式会社, MeijiSeika ファルマ株式会社		

「診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス（平成 29 年 3 月）」に従って、利益相反状況のある以下の 5 名の委員については、本ガイドラインを作成する上で必要不可欠の人材であり、その判断と措置の公正性及び透明性を明確に担保して本ガイドライン策定プロセスに参加したが、社会に対する説明責任を果たすべく本ガイドライン策定にかかる最終決定権を持たせない措置を行なった。

五十嵐中, 伊豫雅臣, 岸本 泰士郎, 中込和幸, 根本清貴

2. 組織の利益相反情報

ガイドライン作成を行った日本神経精神薬理学会と日本臨床精神神経薬理学会の組織としての利益相反情報は以下の通り。

一般社団法人日本神経精神薬理学会の事業活動における資金提供を受けた企業の記載

■ 2019 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日

①「統合失調症薬物治療ガイドライン」の作成に関連して、資金を提供した企業名	
なし	
②日本神経精神薬理学会の事業活動（「統合失調症薬物治療ガイドライン」の作成以外）に関連して、資金（寄付金など）を提供した企業名	
1) 共催セミナーなど	
・アステラス製薬株式会社 ・エーザイ株式会社 ・MSD 株式会社 ・大塚製薬株式会社	・東洋紡株式会社 ・日本イーライリリー株式会社 ・日本新薬株式会社 ・日本たばこ産業株式会社

・小原医科産業株式会社 ・カクタス・コミュニケーションズ株式会社 ・株式会社ガリバー ・株式会社九州神陵文庫 ・株式会社ヤクルト本社中央研究所 ・共和薬品工業株式会社 ・塩野義製薬株式会社 ・センチュリーメディカル株式会社 ・第一三共株式会社 ・大日本住友製薬株式会社 ・武田薬品工業株式会社 ・田辺三菱製薬株式会社 ・中外製薬株式会社 ・帝人ファーマ株式会社	・日本チャールス・リバー株式会社 ・ノバルティスファーマ株式会社 ・ファイザー株式会社 ・フィリップ モリス ジャパン合同会社 ・富士フイルム和光純薬株式会社 ・ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン ・室町機械株式会社 ・Meiji Seika ファルマ株式会社 ・持田製薬株式会社 ・ヤンセンファーマ株式会社 ・ユーシービー・ジャパン株式会社 ・吉富薬品株式会社 ・ルンドベック・ジャパン株式会社
2) 法人会員会費	
・アステラス製薬株式会社 ・アッヴィ合同会社 ・アルフレッサファーマ株式会社 ・MSD 株式会社 ・大塚製薬株式会社 ・塩野義製薬株式会社 ・セオリアファーマ株式会社 ・大日本住友製薬株式会社	・武田薬品工業株式会社 ・中外製薬株式会社 ・日本イーライリリー株式会社 ・日本ケミファ株式会社 ・富士フイルム和光純薬株式会社 ・Meiji Seika ファルマ株式会社 ・ヤンセンファーマ株式会社 ・ルンドベック・ジャパン株式会社
3) 広告	
・アッヴィ合同会社 ・ヴィアトリス製薬株式会社 ・エーザイ株式会社 ・MSD 株式会社 ・大塚製薬株式会社 ・小原医科産業株式会社 ・カクタス・コミュニケーションズ株式会社	・中外製薬株式会社 ・帝國製薬株式会社 ・ナカライテスク株式会社 ・ニプロ株式会社 ・日本イーライリリー株式会社 ・日本チャールス・リバー株式会社 ・ノーベルファーマ株式会社 ・バイオリサーチセンター株式会社

・株式会社オノデラコーポレーション ・株式会社じほう ・株式会社白松がモナカ本舗 ・株式会社セイミ ・株式会社仙台放送 ・共和薬品工業株式会社 ・公益社団法人宮城県物産店復興協会 ・塩野義製薬株式会社 ・生命科学連携推進協議会 ・大日本住友製薬株式会社 ・太陽化学株式会社	・ファイザー株式会社 ・Bentham Science Publishers ・丸善雄松堂株式会社 ・Meiji Seika ファルマ株式会社 ・持田製薬株式会社 ・ヤンセンファーマ株式会社 ・ユーシービージャパン株式会社 ・吉富薬品株式会社 ・ルンドベック・ジャパン株式会社 ・ワイリー・パブリッシング・ジャパン
4) 著作権使用料（印税）	
・アルタ出版株式会社 ・株式会社医学書院 ・株式会社サンメディア	・株式会社じほう ・株式会社ビオメディクス ・John Wiley & Sons Australia Ltd
5) 寄付など	
・株式会社池田理化 ・株式会社南部医理科 ・東レ株式会社 ・ナカライテスク株式会社 ・日本イーライリリー株式会社	・日本ケミファ株式会社 ・日本製薬団体連合会 ・日本たばこ産業株式会社 ・ヤンセンファーマ株式会社

一般社団法人日本臨床精神神経薬理学会の事業活動における資金提供を受けた企業を記載

■ 2019年1月1日～2021年12月31日

①「統合失調症薬物治療ガイドライン」の作成に関連して、資金を提供した企業名
なし
②日本臨床精神神経薬理学会の事業活動（「統合失調症薬物治療ガイドライン」の作成以外）に関連して、資金（寄付金など）を提供した企業名
1) 研究助成金（学術賞、留学支援など）
・大塚製薬株式会社 ・グラクソ・スミスクライン株式会社 ・ヤンセンファーマ株式会社

2) 共催セミナーなど	
・アステラス製薬株式会社 ・ヴィアトリス製薬株式会社 ・エーザイ株式会社 ・MSD 株式会社 ・大塚製薬株式会社 ・株式会社九州神陵文庫 ・株式会社協和企画 ・共和薬品工業株式会社 ・塩野義製薬株式会社 ・センチュリーメディカル株式会社 ・第一三共株式会社 ・大日本住友製薬株式会社 ・武田薬品工業株式会社 ・田辺三菱製薬株式会社 ・中外製薬株式会社 ・帝人ファーマ株式会社 ・日本イーライリリー株式会社	・日本新薬株式会社 ・日本たばこ産業株式会社 ・日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 ・ノバルティスファーマ株式会社 ・ファイザー株式会社 ・フィリップ モリス ジャパン合同会社 ・富士フイルム和光純薬株式会社 ・ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン ・室町機械株式会社 ・Meiji Seika ファルマ株式会社 ・持田製薬株式会社 ・ヤンセンファーマ株式会社 ・ユーシービージャパン株式会社 ・吉富薬品株式会社 ・ルンドベック・ジャパン株式会社
3) 広告	
・アッヴィ合同会社 ・大塚製薬株式会社 ・株式会社ツムラ ・塩野義製薬株式会社 ・大日本住友製薬株式会社 ・武田薬品工業株式会社 ・帝國製薬株式会社 ・ナカライテスク株式会社 ・日本イーライリリー株式会社	・バイオリサーチセンター株式会社 ・ファイザー株式会社 ・Meiji Seika ファルマ株式会社 ・持田製薬株式会社 ・ヤンセンファーマ株式会社 ・ユーシービージャパン株式会社 ・ルンドベック・ジャパン株式会社 ・ワイリー・パブリッシング・ジャパン
4) 著作権使用料（印税）	
・株式会社星和書店	
5) 寄付など	
・獨協医科大学同窓会 ・日本イーライリリー株式会社	・日本たばこ産業株式会社 ・ヤンセンファーマ株式会社

・日本製薬団体連合会	
------------	--

日本神経精神薬理学会と日本臨床精神神経薬理学会に対してガイドライン作成に関連した資金を提供した企業はなく、本ガイドラインの作成以外の事業活動に関連して資金を提供した企業は本ガイドライン策定プロセスに参加していない。よって、日本神経精神薬理学会と日本臨床精神神経薬理学会への資金提供者の見解は本ガイドラインの内容に影響していない。